

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年2月13日

【四半期会計期間】 第3期第3四半期(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

【会社名】 株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス

【英訳名】 Gamecard-Joyco Holdings, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長兼社長 石橋保彦

【本店の所在の場所】 東京都千代田区一番町16番地 共同ビル

【電話番号】 03(5214)4777

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 堀 幹千代

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区一番町16番地 共同ビル

【電話番号】 03(5214)4778

【事務連絡者氏名】 経理部長 高木 準一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第2期 第3四半期 連結累計期間 | 第3期 第3四半期 連結累計期間 | 第2期 |
|------------------------------|-------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日 | 自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日 | 自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日 |
| 売上高 | (百万円) | 31,137 | 27,190 | 39,545 |
| 経常利益 | (百万円) | 3,103 | 2,445 | 2,692 |
| 四半期(当期)純利益 | (百万円) | 1,922 | 1,334 | 1,598 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (百万円) | 1,882 | 1,359 | 1,624 |
| 純資産額 | (百万円) | 42,056 | 42,301 | 41,798 |
| 総資産額 | (百万円) | 66,277 | 65,269 | 65,510 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益金額 | (円) | 134.82 | 93.53 | 112.08 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 | (円) | | | |
| 自己資本比率 | (%) | 63.5 | 64.8 | 63.8 |

| 回次 | | 第2期 第3四半期 連結会計期間 | 第3期 第3四半期 連結会計期間 |
|---------------|-----|-------------------------------|-------------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日 | 自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 | (円) | 42.87 | 19.17 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、政府・日銀の経済・金融政策による円安・株高が継続し企業収益の改善が進んでおり、回復基調で推移しております。その一方で、海外、とりわけ新興国の景気の下振れ懸念や今春の消費税増税による消費マインドへの影響等、先行きに対する不透明感は払拭されていません。

当社グループが事業を展開しております遊技業界においては、娯楽の多様化による若者の遊技人口減少、低玉貸し営業の定着による4円パチンコの不振等があり、パチンコホールの経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中パチンコホールは、投資全般としては慎重な姿勢が見られますが、収益力・集客力の向上に繋がる投資に対しては高いニーズが見受けられます。利便性が高く、コスト低減化に寄与し、パチンコホールの収益力向上につながる「各台計数システム」は、比較的堅調に伸びているものの、新規に出店する店舗数が減少していることから、限られた案件の中で、競合各社による競争は一層熾烈なものになっております。

当社グループでは、昨年末に日本ゲームカード株式会社が、プラズマクラスターのイオン濃度を向上させる空気清浄機「P C I（プラズマクラスターイオン）ユニット」を、さらに主力商品であるパチンコ用各台計数機能付カードユニット「B L E X（ビーレックス）」に5インチ液晶を搭載した新機種「B L E X - E（ビーレックスイー）」を市場投入いたしました。これらの新商品の投入と既存の「B L E X（ビーレックス）」及び各台計数機能対応メダル貸機「B L E X M C（ビーレックス エムシー アルファ）」の販売が比較的堅調であったことにより、業績は概ね当初の計画通りに推移いたしました。一方、前年同四半期比では、加盟店舗数・機器販売台数の減少、価格競争の激化による販売単価の減少により、売上高、利益とも前年同四半期を下回る結果となりました。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間における売上高は27,190百万円（前年同四半期比12.7%減）、営業利益は2,372百万円（同23.7%減）、経常利益は2,445百万円（同21.2%減）、四半期純利益は1,334百万円（同30.6%減）となりました。

販売品目別の業績概況は、次のとおりであります。

機器売上高は、15,295百万円（前年同四半期比15.1%減）となりました。

カード収入高は、3,700百万円（同13.4%減）となりました。

システム使用料収入は、7,863百万円（同7.5%減）となりました。

その他の収入は、330百万円（同3.8%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は65,269百万円となり、前連結会計年度末と比較し240百万円減少いたしました。

これは主に、受取手形及び売掛金が1,653百万円、有価証券が9,480百万円、発行保証金信託が1,525百万円増加した一方で、現金及び預金が5,594百万円、商品及び製品が950百万円、有形固定資産が367百万円、無形固定資産が698百万円、投資その他の資産のその他（主に投資有価証券）が5,228百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債合計は22,967百万円となり、前連結会計年度末と比較し744百万円減少いたしました。

これは主に、支払手形及び買掛金が1,024百万円増加した一方で、未払法人税等が586百万円、流動負債のその他（主に未払金）が311百万円、リース債務が634百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は42,301百万円となり、前連結会計年度末と比較し503百万円増加いたしました。

主な増加要因は、利益剰余金478百万円の増加によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は1,507百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 50,000,000 |
| 計 | 50,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|---|-----------------------------|------------------------------------|----------------------|
| 普通株式 | 14,263,000 | 14,263,000 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数は100株 であります。 |
| 計 | 14,263,000 | 14,263,000 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金 増減額 (百万円) | 資本準備金 残高 (百万円) |
|-------------|-----------------------|----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 平成25年12月31日 | | 14,263,000 | | 5,500 | | 2,000 |

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 100 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 14,261,600 | 142,616 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 1,300 | | |
| 発行済株式総数 | 14,263,000 | | |
| 総株主の議決権 | | 142,616 | |

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が300株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数3個が含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、自己株式が21株含まれております。

3. 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|---|--------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社ゲームカード・ジョイコ ホールディングス | 東京都千代田区一番町 16番地 | 100 | | 100 | 0.00 |
| 計 | | 100 | | 100 | 0.00 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 16,732 | 11,137 |
| 受取手形及び売掛金 | ² 4,462 | ² 6,115 |
| 営業未収入金 | 1,381 | 1,341 |
| リース投資資産 | 8,025 | 7,907 |
| 有価証券 | 9,999 | 19,480 |
| 発行保証金信託 | 5,246 | 6,772 |
| 商品及び製品 | 3,669 | 2,719 |
| 原材料及び貯蔵品 | 851 | 833 |
| その他 | 1,215 | 1,287 |
| 貸倒引当金 | 16 | 13 |
| 流動資産合計 | 51,567 | 57,582 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 2,120 | 1,752 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,646 | 1,352 |
| その他 | 1,862 | 1,458 |
| 無形固定資産合計 | 3,509 | 2,810 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 8,655 | 3,427 |
| 貸倒引当金 | 342 | 304 |
| 投資その他の資産合計 | 8,313 | 3,123 |
| 固定資産合計 | 13,942 | 7,687 |
| 資産合計 | 65,510 | 65,269 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,675 | 4,700 |
| 営業未払金 | 23 | 19 |
| 未払法人税等 | 1,026 | 440 |
| 引当金 | 293 | 148 |
| カード未精算勘定 | 2,770 | 2,710 |
| その他 | 5,394 | 5,082 |
| 流動負債合計 | 13,183 | 13,101 |
| 固定負債 | | |
| 引当金 | 440 | 494 |
| リース債務 | 6,804 | 6,169 |
| その他 | 3,284 | 3,201 |
| 固定負債合計 | 10,528 | 9,865 |
| 負債合計 | 23,712 | 22,967 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,500 | 5,500 |
| 資本剰余金 | 5,122 | 5,122 |
| 利益剰余金 | 31,099 | 31,577 |
| 自己株式 | 0 | 0 |
| 株主資本合計 | 41,721 | 42,200 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 76 | 101 |
| その他の包括利益累計額合計 | 76 | 101 |
| 純資産合計 | 41,798 | 42,301 |
| 負債純資産合計 | 65,510 | 65,269 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 31,137 | 27,190 |
| 売上原価 | 21,532 | 18,636 |
| 売上総利益 | 9,604 | 8,554 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,496 | 6,182 |
| 営業利益 | 3,108 | 2,372 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 40 | 35 |
| 受取配当金 | 15 | 15 |
| 貸倒引当金戻入額 | 23 | 37 |
| その他 | 51 | 85 |
| 営業外収益合計 | 130 | 173 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 72 | 52 |
| 支払保証料 | 37 | 35 |
| その他 | 25 | 11 |
| 営業外費用合計 | 135 | 100 |
| 経常利益 | 3,103 | 2,445 |
| 特別損失 | | |
| 設備使用契約解約損 | - | 233 |
| その他 | 4 | 4 |
| 特別損失合計 | 4 | 237 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,098 | 2,207 |
| 法人税等 | 1,175 | 873 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,922 | 1,334 |
| 四半期純利益 | 1,922 | 1,334 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,922 | 1,334 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 40 | 25 |
| その他の包括利益合計 | 40 | 25 |
| 四半期包括利益 | 1,882 | 1,359 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,882 | 1,359 |

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日) |
|---------|---|
| 税金費用の計算 | 税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。 但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。 |

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 加盟店のリース契約に伴う債務に対して次のとおり引取保証を行っております。

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|----------|-------------------------|-------------------------------|
| 加盟店535店舗 | 6,063百万円 | 加盟店519店舗 5,502百万円 |

2. 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理していません。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|------|-------------------------|-------------------------------|
| 受取手形 | 16百万円 | 25百万円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日) |
|---------|--|--|
| 減価償却費 | 1,689百万円 | 1,559百万円 |
| のれんの償却額 | 293百万円 | 293百万円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成24年6月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 499 | 35 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月27日 | 利益剰余金 |
| 平成24年11月2日 取締役会 | 普通株式 | 427 | 30 | 平成24年9月30日 | 平成24年12月3日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成25年6月21日 定時株主総会 | 普通株式 | 427 | 30 | 平成25年3月31日 | 平成25年6月24日 | 利益剰余金 |
| 平成25年11月7日 取締役会 | 普通株式 | 427 | 30 | 平成25年9月30日 | 平成25年12月2日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当社グループの報告セグメントは、パチンコプリペイドカードシステム関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|----------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 134円82銭 | 93円53銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(百万円) | 1,922 | 1,334 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | | |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(百万円) | 1,922 | 1,334 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 14,262,883 | 14,262,879 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第3期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)中間配当について、平成25年11月7日開催の取締役会において、平成25年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

| | |
|--------------------|------------|
| 配当金の総額 | 427百万円 |
| 1株当たりの金額 | 30円00銭 |
| 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成25年12月2日 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月7日

株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 布施 木 孝 叔 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 飯 畑 史 朗 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングスの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。